

西郷村新庁舎建設庁内検討幹事会【組織検討部会】

調査検討結果報告書

令和3年2月

1 所管事務における検討事項（課題の集約）

1 組織のあり方と配置に関すること

2 中間調査検討結果

新庁舎の建設に当たっては、住民の使いやすさが何よりも優先されるべきである。

庁舎機能が分散されていること、庁舎スペースの都合等の理由により、必ずしも住民ニーズに効果的・効率的に対応できる組織編制、配置となっていない現状がある。

このため、いわゆるハコモノとしての庁舎が、将来にわたって組織編制や配置の足かせとならないよう、庁舎機能を集約したときに求められる広さを確保することが、住民ニーズに効果的・効率的に対応できることにつながる。なお、ここでいう広さとは、庁舎全体としての広さだけでなく、フロアごとに必要な機能が異なるため、フロアごとに個別に検証し、確保するべきであることを提言する。

当部会において検討したところ、来庁者の利便性、職員の業務連携等を総合的に考慮すると、議会関係は上層階配置、また上層階には総務・企画系の部署及び事業課を、1階には窓口業務を行う課を中心としたその他の課を配置することを提言する。

また、組織としてのかたちは、住民ニーズ等により絶えず変化する（例：組織編制の改編、一部業務の民間への業務委託等）ものであることから、その時々々のニーズに基づく組織のあり方、組織の配置に柔軟に対応できるよう、各フロアをオープンプロアとするべきであると提言する。

また、現状においても災害対応、選挙における投票所、確定申告等において臨時的なスペースが必要となっている。庁舎機能を集約することで、健診等のイベントがさらに加わるため、これまで以上に臨時的なスペースの必要性が高まることとなるため、業務上、これまで以上に臨時的なスペースが必要となることも考慮して、当該スペースを確保する必要があると提言する。

さらには、現状において、各課の必要備品等を格納するプレハブ倉庫が分散して設置されていることから、倉庫を敷地内に適切に配置する必要があることも考慮する必要があると思われる。

3 検討経過と体制

- 令和2年 5月27日 第1回 4名参加（課題の集約について）
- 令和2年 7月 8日 第2回 6名参加（検討事項の細部検討について）
- 令和2年 8月 5日 第3回 6名参加（検討事項の細部検討について）
- 令和2年10月 8日 第4回 5名参加（幹事会への中間報告を受けて）
- 令和3年 1月27日 第5回 3名参加（配置ゾーニングについて）

○調査検討メンバー

No.	所属・職名	氏名	備考
1	参事兼総務課長	真船 貞	部会長
2	総務課専門主査兼人事係長	田島 貴志	副部会長
3	企画政策課主幹兼課長補佐	池田 早苗	
4	財政課課長補佐兼財政係長	渡部 祥一	
5	産業振興課課長補佐兼産業振興係長	根本 強	
6	福祉課課長補佐兼子育て支援センター所長	黒澤 浩子	
7	学校教育課課長補佐兼庶務係長	鈴木 弘嗣	